

明るい社会にするには

浦安市立浦安中学校1年 吉野 杏

私にとって家族は、楽しい存在です。

まず、父親。父はとにかく動いています。ずっと動いてなかなか止まりません。例えば休日は、朝はランニングからはじまり、ご飯を作ったり、そうじをしたり、母といっしょにおつかいもします。

このようにずっと動くので私といっしょに遊んでもくれます。ちいさいころ、工作用紙を使って本格的にぬいぐるみの家具を作ったり、立体的なビー玉のめいろをいっしょに、つくったりもしました。時には外でなわとびもたくさん飛んでいて、とにかくいっしょに遊んでくれていて楽しかったです。

それだけではなく、たくさん相談にのってくれていて、自分が落ちこんでしまったときにアドバイスやヒントをもらって、スッキリすることがとても多いです。そして、勉強も見えてくれていて、分かるまで教えてくれるので、うれしいです。

とてもたのしく、平和な家族なのでたくさん笑ってしまいます。そんな2人をまとめてくれるのが母親です。

祖父母たちの家も電車で行ける場所で、コロナ後は今までよりもひんどは減ってしまいましたが、よく行きます。祖父母たちともとても仲がいいです。

休みの日は3人ですごすことがとても多くいろいろなところへ行きます。ショッピングや旅行、サッカー観戦など電車にのるところも行きますが、自転車で夏はプール、春と秋はお弁当とシートを持参して、近くの大きな公園へ行きます。外へ行かなくても家でみんなテレビを見たりおやつをたくさんたべていつもみんなでリビングにいます。お正月、ひなまつり、クリスマスなどの季節の行事もみんなで楽しみます。もちろんみんなのお誕生日もたくさんいっしょに祝います。私はそのときのケーキを選ぶ時間をとてもたのしみにし

ています。

休みの日や夜は3人でいますが、平日は父は会社、母も外に出て働くことが多くなってきたので、私ができることを考えました。まずお皿洗いや洗たく物を取り入れてたたみ、それぞれの場所へくばっています。

中学校へあがり家からさらに学校がとおくなり部活も小学校までは帰る約束をしてるじかんよりおそいじかんにきたくすることが多くなり、さらに土日のどちらかに部活があるので体力ももたずつかれきってしまうことが多いけど、家の中でできることを増やして3人で家事をぶんたんして手伝おうとおもっています。ちょうせんしたいことは料理はどうかなと思っています。美味しいものをつくってみんなをえがおにしたいからです。最近ではSNSなどの動画をみてかたんで、しかも美味しそうだなと思っているのでつくってみるのもいいなと思っています。私は毎日ティックトックを見ているのですが、この前にはじゃがいもを使ったおもしろくて、おいしそうなレシピを見つけたりしました。それは、ただじゃがいもを切って焼くだけのレシピですが、細かく包丁で切れ目を入れているのでゴムのようにのびるのが、見た目におもしろくて、かつカリカリときこえる音もおいそうだと思い、作ってみたいと思いました。

さいごに私が家族とのかかわりにどんなことをかんじているのかをかんがえます。私は、家族はいちばん身近な社会だと考えています。私は、家族となかよくしているとしぜんにたくさんのえがおがうまれてきます。どうしてなんででしょうか。私が考えたのは、それは気持ちが安心して、心がみたされていくからなのではないでしょうか。そうすると、別の社会、例えば学校や友達とのかかわりでも笑顔ですごすことができると、私は考えています。

社会を明るくするためには、体のけんこうだけではなく心もけんこうでないといけないと思っています。心がけんこうであればきずついた友達の心をなおしてあげられることもできますし、家族やまわ

りの人もみんながえがおになれると思っています。私のえがおのみなもとは家族です。まずはそのみなさんのえがおのみなもとである、小さな社会をたのしくするのがいいのではないのでしょうか。